# [省令第8条の4の5(1,000トン以上排出事業者用)]

様式第2号の8(第8条の4の5関係)

(第1面)

#### 産業廃棄物処理計画書

2024 年 6 月 30 日

(宛先) 長野市長 荻原 健司 殿

提出者

住 所 長野県長野市中御所3丁目9番14号

氏 名 株式会社美整社

代表取締役 武田忠久

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 026-224-0144

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場(	の 名	称	株式会社美整社
事	業場の	所 在	地	長野市中御所3丁目9番14号
計	画	期	間	2024年4月1日~2025年3月31日
当記	亥事業場に	こおい	て到	見に行っている事業に関する事項
	① 事 業	の種	類	072 とび・土工・コンクリート工事業、0796 はつり・解体工事業
	② 事 業	の規	模	資本金:2000万円
	③ 従 氵	業 員	数	32名
				解体工事現場→自社又は委託業者にて運搬→中間処理→再資源化又は最終処分
	④産業原 一連のタ			

#### 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

#### (管理体制図)

代表取締役

①現状

取締役常務(産業廃棄物処理総括責任者)

工事部

(産業廃棄物管理担当)

工事現場管理責任者(産業廃棄物管理責任者)

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(令和 5 年度)実績】

	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,									
産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く				
排出量	7. 70t	15. 69t	181. 05t	0.66t	0.06t	82. 53t				
産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス	石綿含有産業 廃棄物	水銀使用製品 廃棄物							
排出量	1,073.44t	15. 07t	0.02t							

#### (これまでに実施した取組)

・産業廃棄物の種類ごとの搬出量を把握し予測する

## 【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く
排出量	7.00t	15. 00t	180.00t	1.00t	1.00t	80.00t
産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス	石綿含有産業 廃棄物	水銀使用製品 廃棄物			
排出量	1, 000. 00t	15. 00t	0.02t			

# (今後実施する予定の取組)

- ・産業廃棄物の適正な分別の徹底及び混合廃棄物の減量化
- ・発生抑制のための情報収集
- ・協力業者への指導により分別の徹底

## 産業廃棄物の分別に関する事項

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

・混合廃棄物について可能な限り極力分別を行う

# ①現状

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

・分別を徹底するよう教育、指導を行うようにする

## ②計画

白ら行う産業	廃棄物の再生利用に関する事項													
ロリリア産来	【前年度(令和 5 年度)実績】													
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンク							
	自ら再生利用を行った	(廃タイヤ、発泡					リート・陶磁器く							
	産業廃棄物の量			181. 05t										
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス	石綿含有産業 廃棄物	水銀使用製品 廃棄物										
①現状	自ら再生利用を行った													
	産業廃棄物の (これまでに実施した取組)	100.010												
	・木くずの再資源化													
	【目標】													
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く							
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量			160.00t			18 (							
		がれき類(コンク	石綿含有産業	水銀使用製品										
	産業廃棄物の種類	リがら、廃アス	廃棄物	廃棄物										
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	100.00t												
	(今後実施する予定の取組)			1			1							
	・これまで実施した取組を継続す 環境負荷を軽減し、リサイクル			',										
		1 -> 1-12 100	2											
白さ伝き充業	表を集の中間が押に関わりまで													
目り仃り産業	廃棄物の中間処理に関する事項 【前年度(令和 5 年度)実績】													
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンク							
	自ら熱回収を行った	(廃タイヤ、発泡					リート・陶磁器く							
	産業廃棄物の量													
	自ら中間処理により減量した	.												
	産業廃棄物の賃	■ がれき類(コンク	石綿含有産業	水銀使用製品										
	産業廃棄物の種類	リがら、廃アス	廃棄物	廃棄物										
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量													
	自ら中間処理により減量した	_												
	産業廃棄物の量													
	(これまでに実施した取組)         ・排出物に係る細かな分類													
	【目標】													
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く							
	自ら熱回収を行う						7 1 PPJ RAA HII V							
	産業廃棄物の量													
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量													
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス	石綿含有産業 廃棄物	水銀使用製品 廃棄物										
②計画	自ら熱回収を行う		元本170	56未刊										
金司 四	産業廃棄物の量	<u> </u>												
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量													
	(今後実施する予定の取組)			1		1	1							
	・これまで実施した取組を継続す			`,										
	環境負荷を軽減し、リサイクル	半の同上をはか	70											

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項														
	【前年度(令和 5 年度)実績】													
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を 行った産業廃乗物の量													
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス	石綿含有産業廃 棄物	水銀使用製品廃 棄物										
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を 行った産業廃棄物の量													
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない													
	【目標】													
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	(AP) TO THE					) I pup naa tiir \							
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス	石綿含有産業廃 棄物	水銀使用製品廃 棄物										
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量													
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない			l L										
産業廃棄物の刎	   押の季託に関する重百													
産業廃棄物の処	  理の委託に関する事項   「前年度(令和 5 年度)実績													
産業廃棄物の処	理の委託に関する事項 【前年度(令和 5 年度)実績】 産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く							
産業廃棄物の処	【前年度(令和 5 年度)実績】		紙 <b>くず</b> 15.69t	木くず	繊維 <b>くず</b> 0.66t	金属 <b>くず</b> 0.06t	ガラス・コンク リート・陶磁器く ず(石豪ポード会 82.53t							
産業廃棄物の処	【前年度(令和 5 年度)実績】 産業廃棄物の種類	(廃タイヤ、発泡 スチロール会		木くず			リート・陶磁器く ず(石膏ボード会							
産業廃棄物の処	【前年度(令和 5 年度)実績】       産業廃棄物の種類       全処理委託量       優良認定処理業者への	(廃タイヤ、発泡 スチロール会		木〈ず			リート・陶磁器く ず(石膏ボード会							
産業廃棄物の処	【前年度(令和 5 年度)実績】       産業廃棄物の種類       全処理委託量       優良認定処理業者への処理 委託 量再生利用業者への	(廃タイヤ、発泡 スチロール会		木くず			リート・陶磁器く ず(石膏ボード会							
産業廃棄物の処	【前年度(令和 5 年度)実績】      産業廃棄物の種類     全処理委託量      侵良認定処理業者への     埋 委 託 量      再 生 利 用 業 者 への     型 変 託 量      記 定 熱 回 収業者への	(廃タイヤ、発泡 スチロール会		木くず			リート・陶磁器く ず(石膏ボード会							
	【前年度(令和 5 年度) 実績】       産業廃棄物の種類       全処理委託量       優良認定処理業者への型処理要託       再生利用業者託へ量認定熱回収業者以外の熱回収を認定熱回収業者以外の熱回収を	(廃タイヤ、発泡 スチロール含 7.70t					リート・陶磁器く ず(石膏ボード会							
産業廃棄物の処	【前年度(令和 5 年度)実績】       産業廃棄物の種類       全処理委託量       優良認定処理業者への量処理委託       再生利用業者託への量認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量	がれき類(コンク リがら、廃アス	15.69t	水銀使用製品廃棄物			リート・陶磁器く ず(石膏ボード会							
	「前年度 (令和 5 年度) 実績」       産業廃棄物の種類       全処理委託量       優良認定処理業者の量       再生利用委業者託へ量       認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量       産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス ファルト レンガ	15. 69t  15. 69t	水銀使用製品廃棄物			リート・陶磁器く ず(石膏ボード会							
	【前年度(令和 5 年度) 実績】         産業廃棄物の種類         全処理委託量         食即理 利果 者託	がれき類(コンク リがら、廃アス ファルト レンガ	15. 69t  15. 69t	水銀使用製品廃棄物			リート・陶磁器く ず(石膏ボード会							
	【前年度(令和 5 年度)実績】       産業廃棄物の種類       全処理委託量       優し、理要託の量       優し、理要業託の量       歴期用委業者託の量       認定熱回収業者以外の熱回収表の量       認定熱業者への量       選別の課者への量       産業廃棄物の種類       全処理委託量       優処理委託量       優処理委託の量       再生利用業者への量	がれき類(コンク リがら、廃アス フェルト レンガ 971. 17t	15. 69t  15. 69t	水銀使用製品廃棄物			リート・陶磁器く ず(石膏ボード会							
	【前年度 (令和 5 年度) 実績】  産業 廃棄 物の種類  全処理 委託 量 者託 担回 収素 業 業 型 収表 以外理 種 型 収表 以外理 種 変 業 産 型 理 収素 を量 を量 を重 乗 乗 もの量 の量 を量 を重 乗 乗 乗 乗 を 収表 変 業 産 型 理 収表 産 業 業 産 収表 単 乗 産 乗 乗 を 型 理 収表 産 業 業 産 収表 単 乗 産 取 要 単 乗 者託	がれき類(コンク リがら、廃アス フェルト レンガ 971. 17t	15. 69t  15. 69t	水銀使用製品廃棄物			リート・陶磁器く ず(石膏ボード会							
	【前年度(令和 5 年度)実績】  産業廃棄物の種類  全処理委託 量  を処理 委託 者託	がれき類(コンク リがら、廃アス ファルト レンガ 971. 17t	15.69t 石綿含有産業廃 棄物 15.07t	水銀使用製品廃 棄物 0.02t			リート・陶磁器く ず(石膏ボード会							
	<ul> <li>(令和 5 年度) 実績</li> <li>産業廃棄物の種類</li> <li>全処理委託量</li> <li>会処理委託者託者託者託者託者託者託者託者託者託者託者託者託者託者託者託担回収業者への量の定熱業者への量を量</li> <li>産業廃棄物の種類</li> <li>企業務項の量を量</li> <li>を業務のの種類</li> <li>を業務のの種類</li> <li>企業の重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重</li></ul>	がれき類(コンク リがら、廃アス ファルト レンガ 971.17t	15.69t 石綿含有産業廃 棄物 15.07t	水銀使用製品廃 棄物 0.02t			リート・陶磁器く ず(石膏ボード会							

[	Ħ	標	1

【日悰】						
産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール含	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く ず(石膏ボード
全 処 理 委 託 量	7.00t	15.00t	20. 00t	1.00t	1.00t	80.00t
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量						
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量						
産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス ファルト、レンガ	石綿含有産業 廃棄物	水銀使用製品 廃棄物			
全処理委託量	900.00t	15.00t	0. 02t			
優良認定処理業者への処理委託量						
再生利用業者への処理委託量	950.00t					
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を 行 う 業 者 へ 処 理 委 託 量						

②計画

# (今後実施する予定の取組)

- ・これまで実施した取組を継続しながら、再生利用可能な廃棄物については再生利用業者へ処理を委託し、環境負荷の軽減をはかる ・電子マニフェスト対応可能な処理業者の選定をする ・産業廃棄物処理委託先業者には定期的に現地確認等を必ず実施する

※事務処理欄

#### 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請 完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応 じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。 また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

# 産業廃棄物処理計画書(産業廃棄物の実績及び計画の量)

			産業廃棄物の種類(実績値・計画値)												
		処 理 🞚	事項	廃プラス チック(廃 タイヤ、 ※シュチ	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・ コンク リート・ 陶磁哭く	がれき類 (コンクリ がら、廃 マスファ	石綿含有 産業廃棄 物	水銀使用 製品廃棄 物			合 計
排出抑制に関する事項		- 朗士 Z 車店	前年度排出量(実績)	7. 70t	15. 69t	181. 05t	0. 66t	0. 06t	82. 53t	1, 073. 44t	15. 07t	0. 02t			1, 376. 22t
排山	ነተነ መነ ( <	-	本年度排出量(計画)	7. 00t	15. 00t	180. 00t	1. 00t	1. 00t	80. 00t	1, 000. 00t	15. 00t	0. 02t			1, 299. 02t
自ら	行う(	行った)	前年度実績			181.05t				102. 27t					283. 32t
		に関する事項	本年度計画(目標)			160.00t				100.00t					260. 00t
自ら	行う	自ら行 <b>う</b> (行った)	前年度実績												
(行っ	った)	熱回収の量	本年度計画(目標)												
中間に関	する	自ら中間処理	前年度実績												
事項	[   により]  する(し	により減量 する(した)量	本年度計画(目標)												
		行った)埋立	前年度実績												
	メは海する事	ቛ洋投入処分 톨項	本年度計画(目標)												
	\$ bn I⊞	委託量	前年度実績	7. 70t	15. 69t		0.66t	0.06t	82. 53t	971. 17t	15. 07t	0. 02t			1,092.90t
処	上处理	安託里	本年度計画(目標)	7. 00t	15. 00t	20.00t	1.00t	1. 00t	80. 00t	900.00t	15. 00t	0. 02t			1,039.02t
理	優良	認定処理業者	前年度実績												
の委託に	<b>への</b>	処理委託量	本年度計画(目標)												
託	再生	利用業者	前年度実績							971. 17t					971. 17t
に 関 す	<b>への</b>	処理委託量	本年度計画(目標)							950.00t					950. 00t
する	認定	熱回収業者	前年度実績												
事		処理委託量	本年度計画(目標)												
項		熟回収業者以外 回収を行う業者	前年度実績												
		回収を行う業者 処理委託量	本年度計画(目標)												

#### 【記載方法】

- ・ 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績(現状)を、下段に本年度の目標(計画)の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・ 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を 記載してください。
- 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。